

# 財政のあらまし

令和4年6月

神戸市

本書は、予算・決算など市の財政事情を市民のみなさんにお伝えする資料です。

毎年6月と12月の年2回作成しています。

今回の令和4年6月号では、令和4年度当初予算の概要と、令和3年度下半期（令和3年10月1日から令和4年3月31日まで）の財政運営の状況についてご説明いたします。

# 目次

## I. 令和4年度当初予算のあらまし

1	令和4年度予算について……………	1
2	予算の概要……………	2

## II. 令和3年度下半期における財政運営の状況について

1	補正予算のあらまし……………	3
2	市民負担の状況……………	3
3	一時借入金の状況……………	3
4	予算の執行状況……………	4
5	企業会計の業務状況……………	5
6	市有財産の状況……………	6
7	市債の状況……………	7

# I 令和4年度当初予算のあらまし

## 1 令和4年度予算について

新型コロナウイルス感染症の出現により、神戸はもとより世界中の風景が一変しました。感染拡大の波が繰り返され、今もなお予断を許しません。医療従事者の皆様は、最前線で患者の治療や予防に当たっておられ、また、市民の皆様には、長きにわたって新型コロナウイルスとの闘いにご協力いただいております。神戸市政は、市民の皆様の命と健康を守り、そして神戸経済を回復させるため、新型コロナに打ち克つことに全力で取り組んでまいります。

阪神・淡路大震災から27年、市民の皆様とともに震災という大きな危機を乗り越えてきました。一方で、人口減少や少子超高齢社会、東京一極集中といった社会情勢の変化による新たな課題に直面しています。withコロナ時代、さらにはポスト・コロナ時代を見据えながら、これらの政策課題の解決に向けて、スピード感をもって取り組む必要があります。

未来の世代が過度な負担を背負い込むことがないように、堅実な成長戦略により、さらなる都市の成長を促すという好循環を創出するとともに、令和の時代に間違いなく進化するテクノロジーを取り入れながら、持続可能な大都市経営を行ってまいります。



ひさもと きぞう

神戸市長 久元喜造

### 7つの柱

- 1 コロナとのたたかいに打ち克つ
- 2 健康・安全を守る
- 3 温もりのある地域社会を創る
- 4 のびやかなくらしと環境を創る
- 5 力強い神戸経済を創る
- 6 未来に輝く神戸の街を創る
- 7 DXの活用による市民参加を進める

## ■ 令和4年度当初予算額

	令和4年度	令和3年度	対前年度比
一般会計	8,868億5,000万円	8,703億6,100万円	+164億8,900万円
特別会計	6,604億9,900万円	6,535億4,100万円	+ 69億5,800万円
企業会計	3,330億4,600万円	3,292億1,100万円	+ 38億3,500万円
総額	1兆 8,803億9,500万円	1兆 8,531億1,300万円	+272億8,200万円

(注)各会計の詳細については、神戸市のホームページで、「当初予算の概要」をご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/48584/2022yosanngaiyou.pdf>

## (1) 一般会計

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組むとともに、「まちの質」・「くらしの質」を重視した施策を強化し、SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた施策を積極的に計上しました。

## (2) 特別会計

超高齢社会の進展に伴い介護保険事業費や後期高齢者医療事業費が増加した一方で、本場卸売棟・仲卸売場棟再整備の事業進捗に伴い市場事業費が減少しました。

## (3) 企業会計

ウォーターフロント地区の再開発に伴う土地購入費の減等により港湾事業会計が減少した一方で、設備改修等により高速鉄道事業会計が増加しました。

## 用語の解説

- ◆一般会計 福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計（財布）です。主に市税や地方交付税などによってまかなわれます。
- ◆特別会計 特定の事業を特定の歳入によって実施するための会計の総称です。一般会計と区分して整理することで、個々の事業の収支や運営実績が明確になります。国民健康保険事業費や介護保険事業費、市営住宅事業費など、本市では11会計あります。
- ◆企業会計 地方公共団体が直接、社会公共の利益を目的として経営する地方公営企業の会計の総称です。主に利用者のみなさんが支払う料金収入で事業を行います。交通事業や上下水道事業など、本市では7会計あります。

## Ⅱ 令和3年度下半期における 財政運営の状況について

### 1 補正予算のあらまし

令和3年度上半期と下半期における補正予算額、現計予算額は次のとおりとなっています。

	当初予算額	補正予算額 (上半期)	補正予算額 (下半期)	現計予算額
一般会計	8,703億6,100万円	204億3,400万円	963億2,000万円	9,871億1,500万円
特別会計	6,535億4,100万円	-	120億5,700万円	6,655億9,700万円
企業会計	3,292億1,100万円	1億2,100万円	53億9,300万円	3,347億2,600万円
全会計	1兆8,531億1,300万円	205億5,400万円	1,137億7,000万円	1兆9,874億3,800万円

(注)表示単位未満四捨五入により、合計と積上げが一致しない箇所があります。

### 2 市民負担の状況

一般会計の令和3年度現計予算における市民のみなさんの直接負担となる市税の予算額について、1世帯・1人あたりの額は、次のとおりとなっています。

	歳入総額	うち市税 (歳入総額に対する割合(%))	1世帯あたり 負担額	1人あたり 負担額
現計予算額	9,871億1,500万円	2,988億円 (30.3%)	405,691円	197,603円

(注)令和4年3月1日時点の世帯数736,472世帯、人口1,512,018人で算出しています。

### 3 一時借入金の状況

令和4年3月末における一時借入金の借入限度額・現在高は、次のとおりとなっています。

会計	借入限度額	現在高	
一般会計	900億円	-	
企業会計	下水道事業会計	10億円	
	港湾事業会計	200億円	
	新都市整備事業会計	-	
	自動車事業会計	45億円	30億円
	高速鉄道事業会計	175億円	-
	水道事業会計	30億円	-
	工業用水道事業会計	7億円	-
合計	1,367億円	30億円	

(注)特別会計の一時借入金はありません。

## 4

## 予算の執行状況

令和4年3月末現在における一般会計・特別会計の執行状況は次のとおりとなっています。

## ■ 歳入

(単位：百万円、%)

区 分	予算現在額	収入額			収入率
		上半期	下半期	合 計	
一 般 会 計	1,050,122	399,809	427,030	826,839	78.7
特 別 会 計	672,314	176,528	285,429	461,957	68.7
市場事業費	4,820	871	986	1,857	38.5
食肉センター事業費	1,088	101	110	211	19.4
国民健康保険事業費	159,968	51,520	85,799	137,319	85.8
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	161	228	70	298	185.1
駐車場事業費	1,023	328	409	737	72
農業集落排水事業費	1,568	45	93	138	8.8
市街地再開発事業費	4,217	1,115	198	1,313	31.1
市営住宅事業費	36,656	7,402	10,353	17,755	48.4
介護保険事業費	155,324	61,436	64,682	126,118	81.2
後期高齢者医療事業費	41,854	9,089	10,090	19,179	45.8
公 債 費	265,635	44,393	112,639	157,032	59.1

## ■ 歳出

(単位：百万円、%)

区 分	予算現在額	執行額			執行率
		上半期	下半期	合 計	
一 般 会 計	1,050,122	295,994	353,232	649,226	61.8
特 別 会 計	672,314	291,043	292,157	583,200	86.7
市場事業費	4,820	1,667	1,183	2,850	59.1
食肉センター事業費	1,088	232	330	562	51.7
国民健康保険事業費	159,968	48,729	88,926	137,655	86.1
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	161	37	31	68	42.2
駐車場事業費	1,023	382	264	646	63.1
農業集落排水事業費	1,568	287	103	390	24.9
市街地再開発事業費	4,217	401	362	763	18.1
市営住宅事業費	36,656	5,725	6,867	12,592	34.4
介護保険事業費	155,324	60,517	75,955	136,472	87.9
後期高齢者医療事業費	41,854	16,711	20,715	37,426	89.4
公 債 費	265,635	156,355	97,421	253,776	95.5

(注) 予算現在額には前年度から繰り越した予算額等を含みます。

3月末現在における収入額・執行額のため、決算額とは異なります。

## 5

## 企業会計の業務状況

会計別	業務の予定量（3月補正後）
下水道事業会計	(1) 下水及びし尿処理 : 下水処理量 495,548m <sup>3</sup> /日 し尿処理量 85m <sup>3</sup> /日 (2) 汚水中継及び雨水排除 : 汚水中継量 72,773m <sup>3</sup> /日 雨水排除量 12,460,065m <sup>3</sup> /年
港湾事業会計	(1) 港湾管理 : 岸壁 5,700万 t 物揚場 17万 t 埠頭用地 専用1億7,000万m <sup>2</sup> 、一般5,000万m <sup>2</sup> 港湾幹線道路 600万台 入港料対象船舶 1億5,600万 t (2) 港湾施設運営 : 上屋 専用 4,100万m <sup>2</sup> 、一般 3,300万m <sup>2</sup> 荷役機械 500回/30分 船舶給水 19万m <sup>3</sup>
新都市整備事業会計	土地売却量 : ポートアイランド（第2期） 26,900m <sup>2</sup> 西神住宅第2団地 43,900m <sup>2</sup> 神戸複合産業団地 43,800m <sup>2</sup> 完成団地 200m <sup>2</sup>
自動車事業会計	(1) 運転車両数 : 161,263両/年、442両/日 (2) 運転キロ : 17,604,729km/年、48,232km/日 (3) 輸送人員 : 51,300,657人/年、140,550人/日
高速鉄道事業会計	(1) 運転車両数 : 69,650両/年、191両/日 (2) 運転キロ : 22,327,111km/年、61,170km/日 (3) 輸送人員 : 97,331,995人/年、266,663人/日
水道事業会計	(1) 給水量 : 169,706,000m <sup>3</sup> /年、464,948m <sup>3</sup> /日 (2) 給水戸（箇所）数 : 818,642戸（箇所）
工業用水道事業会計	(1) 給水量 : 15,756,123m <sup>3</sup> /年、43,167m <sup>3</sup> /日 (2) 給水工場数 : 73工場

## 6 市有財産の状況

財産とは、公有財産、物品、債券および基金です。このうち、公有財産とは、市が所有している財産で、土地、建物、地上権、地役権、有価証券、出資による権利などの財産をいいます。

令和4年3月31日現在、企業会計を除いた財産の現在高は次のとおりです。

令和4年3月31日現在

種類	数量			備考		
	単位	行政財産	普通財産		計	
公有財産	土地	㎡	41,531,383	25,090,388	66,621,772	
	建物	延㎡	6,633,817	424,419	7,058,236	
	立木	㎡	—	143,769	143,769	
	船舶	隻	1	—	1	消防艇
	浮架橋	基	1	—	1	
	航空機	機	2	—	2	ヘリコプター
	地上権	㎡	1,763	1,420	3,183	
	地役権	㎡	15,374	—	15,374	
	温泉権	件	9	1	10	銀泉、しあわせの村温泉等
	無体財産権	件	—	53	53	えがおの窓口、神戸ウイングスタジアム商標権等
	有価証券	千円			13,353,650	関西国際空港土地保有株式会社株券等
	出資による権利	千円			263,426,769	日本高速道路保有・債務返済機構出資金等
	物品	点			7,769	
債権	千円			100,302,074		
基金	千円			398,347,468		

(注) 数量は速報値のため、決算とは異なる場合があります。

※繰替運用の残高

(単位：百万円)

基金名	運用残高	内容
神戸市公債基金	652	一般会計財源対策資金等
神戸市市民福祉振興等基金	1,195	有料老人ホーム「サン舞子マンション」建設資金等
神戸市営住宅敷金等積立基金	471	鹿の子台南住宅取得資金等
合 計	2,318	

### 用語の解説

- ◆行政財産 庁舎、事務所、学校、公園など、公用または公共用に利用される財産をいいます。
- ◆普通財産 行政財産以外のすべての公有財産をいいます。



市民生活や産業振興などに必要な都市施設の整備や、安全で安心なまちづくりを進めるために市債を発行しています。事業の優先順位を明確化し、施策の重点化を行うことによって、将来世代に大きな負担を残さないよう、市債残高の適正な管理に努めています。

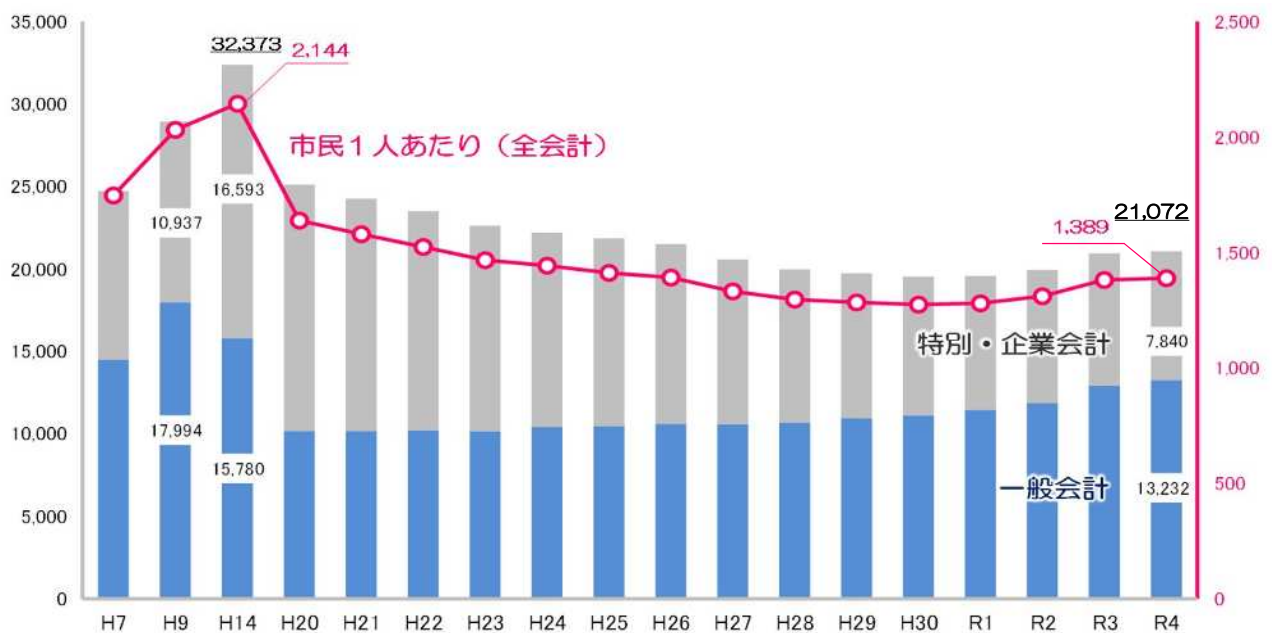
### ■ 市債残高見込み

会 計	令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高見込額	令和4年度末 現在高見込額
一 般 会 計	1兆1,859億円	1兆2,887億円	1兆3,232億円
特 別 会 計	1,711億円	1,747億円	1,716億円
企 業 会 計	6,377億円	6,320億円	6,124億円
合 計	1兆9,947億円	2兆 954億円	2兆1,072億円

### ■ 市債残高の推移

一般会計、  
特別・企業会計  
(億円)

市民1人あたり  
(千円)



(注)市民1人あたりは各年度3月末現在の住民基本台帳登録人口により計算しています。  
(「R3」「R4」はR3年12月末現在の住民基本台帳登録人口により計算しています。)